

(福)特別区社会福祉事業団

広報誌

# SEED

12月号

特集 淀橋荘

特別企画 子ども支援

小豆沢荘・西新井栄荘・江東区まなびサポート

今、そしてこれからを

## 求められる施設を目指して

特別区は、1965年昭和40年福祉事務所の移管と同時に都から移管を受け、更生施設、宿所提供施設、宿泊所の運営を始めました。当初は、各施設の所在区による運営でしたが、移管の翌年、区会長は共同処理することを決め、1967年昭和42年より、特別区人事事務組合から名称変更された特別区人事・厚生事務組合が運営することになりました。その後、当法人が1990年(平成2年)に設立され、当法人をはじめとする社会福祉法人が指定管理者として施設運営を担っています。

以来、様々な社会情勢、人々の生活様式の変化に沿いながら、特別区民の「よきところ」として施設種別の変更や運営の改善などを続けながら施設を運営してまいりました。

我々の施設現場は、まさに社会の鏡です。オイルショック、バブル崩壊、少子高齢化、新型コロナウイルスの蔓延など、世の中の様々な変化による波が施設現場に及んでいます。

路上生活者対策も、その大きな変化の一つです。1993年(平成5年)の冬期臨時宿泊事業から始まり、2000年(平成12年)特別区人事・厚生事務組合の規定変更に基づき、自立支援センター・緊急一



### PROFILE

副理事長 **いりさわ こう 幸**

1961年9月18日生

特別区長会事務局 事務局長

特別区人事・厚生事務組合 副管理者

公益財団法人特別区協議会 常務理事

我々の施設現場は、

まさに**社会の鏡**です。

時保護センター等の運営を特別区と都との共同事業として行うこととなりました。当法人もその運営の一翼を担っています。

現場では、利用者の数だけではなく、利用者の年齢構成や必要とされる支援も日々変化しています。数年前に作られた計画でも、そのままでは社会情勢の変化に心じきれないことも起こり得ます。

多くの民間福祉資源が整う一方で、貧困ビジネスが横行している現在は、本当のニーズが見えにくくなっているのではないかと、そうした状況の中での我々の施設の役割も変換を迫られているのではないかと感じています。

一方、人々の心は大きく変化するものではありません。生活様式や就職のあり方など、場面ややり方に変化はあるものの、平和を求める心、安心安全な暮らしを求める心はいつの世においても同じものだと思います。

私たちの現場は、事業の立ち上げ時、計画の策定時の趣旨や思いを継承しつつ、施設に求められる役割を常に把握し、現状に合わせ変化させ、対応する柔軟な態勢が求められています。

そのためには、社会情勢を見極めるための広い視野、利用者やケアスワーカーなどの関係者の意見を傾聴する耳を持つ必要があります。利用者の求める真に心安んじることのできる生活のために我々の役割は大いにあります。

今後も、事業運営主体である特別区人事・厚生事務組合、23区の福祉事務所の皆様と今まで以上に手を携え、共に考え、時には意見をたたかわせて、「今、そしてこれから」求められる施設を目指して頑張りたいと思います。

**特集**

**更生施設 淀橋荘**

**特別企画**

**子ども支援**

**宿所提供施設 西新井栄荘**

**宿所提供施設 小豆沢荘**

**江東区 まなびサポート事業**

# 更生施設 淀橋荘 所長インタビュー

更生施設淀橋荘は、生活保護法に基づく施設で、利用対象者は「身体上又は精神上的の理由により養護及び生活指導を必要とする男性単身の方」です。この度、淀橋荘所長にインタビューを行いましたので、その模様をお届けします。



淀橋荘所長 田村 勝

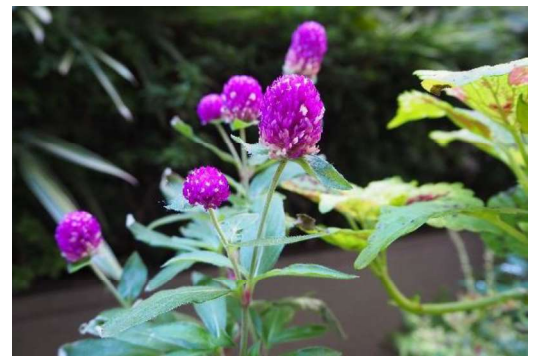
出身地：北海道  
入職のきっかけ：  
技術サービスの仕事から転職。  
休日の過ごし方：体は硬いけれどもヨガをやっています。  
好きな食べ物：  
南インドカリーのミールス

## Q1 施設を取り巻く状況を教えてください。

場所は新宿区内にあり、更生施設と宿所提供施設以下、宿提の併設施設になります。周りは少しにぎやかな環境ですが、交通の便はとても良いです。もともとは戦後まもなくに建てられた宿泊所で、平成7年に宿泊所から更生施設へ改築しています。更生施設は4人部屋が15室と、自炊訓練の個室が10室、宿提は6畳1Kが27室になります。

更生施設の入所者については、コロナ禍で相部屋が敬遠され、減少傾向にありました。今年度より、福祉事務所向け見学会を再開し、その成果かは分かりませんが、入所者数は増加傾向にあります。最近の傾向としては、東京都の市部の病院からの退院先としての利用が多いです。

利用者は、早い人だと6か月、長い人だと2年ほどで地域に戻っていきます。一番多いのはアパート転宅です。アパート生活が初めての人もいますので、先ほどお



施設の中庭に、素敵な花たちが植えられていた。全て職員の手で植えられているとのこと。

話した自炊訓練室も活用します。決められた金額の中で自炊をする練習、栄養士による調理実習、部屋の掃除（水回り含めて）、ゴミ出し等を、3ヶ月を目安として実施しております。

宿提については、殆どが女性単身の利用者となっています。とても困難な状況にいた方が多く、まずは安心して生活できるように努めています。

淀橋荘を退所した後も、通所・訪問事業という形でアフターフォローしながら、地域で生活できるようにお手伝いできればと思っています。更生利用者中心ですが、宿提を退所された方も、利用していま

## プロ集団としてやっていきたい

### Q4 職員について

ように心がけています。支援についてはプロ集団としてやっていきたいですね。

当然ですが、福祉の仕事に就きたいと思って、入職した方が殆どです。学生の頃から福祉を学んできた方も、他分野より転職してきた方もいます。私たちの仕事は、職員それぞれの経験が無駄にならない仕事だと思っておりま

す。支援については、それぞれ熱い想いを持っていて、時には議論になることもあります。その熱い思いが、この仕事の原動力であると思います。互いに切磋琢磨しています。

より良い支援を実践するために、学習会や外部研修への参加等を推進しています。福祉の専門職として、最新の支援の在り方や福祉の動向について勉強し、自己研鑽を続けていく必要があります。悩みや困っていることについては、職場で話せること、相談できることが、とても大切であると考えています。答えが簡単に出せない仕事ですから、みんなで話し合っ



## ◆施設概要

利用対象者、男性単身

定員 入所70名 / 通所35名

5階建て

## ◆所在地

※秘匿の施設のため、所在地や電話番号等は掲載していません。  
詳しくは法人本部(03-6666-1046)までお問い合わせください。

## Q2 施設の中長期的な

### 目標を教えてください

淀橋荘は、令和6年度末で建て替えのため、閉鎖になります。閉鎖にあたっては、利用者、福祉事務所、関係機関が困らないように、支援やコーディネートをしていきます。建て替え後は特別区初の救護施設となり、宿所提供施設も併設されます。引き続き指定管理を受託できるように法人全体で取り組み、利用者福祉事務所の双方のニーズに添えていきます。

## Q3 施設を運営するために

### 心掛けていることはありますか

利用者福祉事務所の双方と信頼関係を築けるように努めています。利用される方は、過酷な状況の中で、大変な思いをされてきた方が殆どです。まずは、そのような状況を受け止め、そのうえで信頼関係を構築できるように取り組みます。また、福祉事務所の職員の方は、現場の最前線にいて、困難や課題と向き合っていることを理解したいと考えています。そして、その困難や課題を私たちも一緒に受け止めたいと思っています。より良い支援を実践するためには、福祉事務所や病院との連携がとても重要です。お互いに顔の見える関係をつくれる

いく事が重要だと思っています。精神的に負荷のかかる仕事ですから、プライベートでのリフレッシュも大切です。

## Q5 施設の今後について

### 教えてください

更生施設にしましては、日中活動がない利用者もいます。そのような利用者への日中プログラムの提供も重要です。淀橋荘では、芸術プログラムとして、絵画教室、書道教室を定期開催しています。次年度は、音楽のプログラムも開催したいと思っています。

宿提にしましては、女性単身ケースが殆どです。困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が次年度に施行される中で、あらためて自分たちの役割についても再確認しなければなりません。より良い支援のあり方について、検討していきます。(編集 清水)



他施設と合同で実施した。利用者も連覇する為に、意気込んでいる様子。

# まなび

## 小豆沢荘



児童室

宿所提供施設（以下、宿提）小豆沢荘・西新井栄荘では、宿提の事業内容である緊急一時保護事業、社会復帰促進事業とあわせて令和元年から「子ども支援事業」を運営しています。0～18歳までの子どもとその家族を対象に児童室を開放、子ども支援員2名が常駐し、遊びと学びの居場所を提供しています。子ども支援事業の目的は、子どもの自尊心を育て、学びの土台をつくることで貧困の連鎖を失くすことです。



庭では、家庭菜園を行っている。真赤で小ぶりのパプリカが実っていた。



学校用品の貸出も対応可。





# 西新井栄荘

すまいるルーム



過去には勉強会も開催。



すまいるルームの掲示物。子どもへわかりやすい内容になっている。

子ども支援員は、子どもにとって親でもなく、先生でもない、なんでも相談できる大人として、日々、子どもの自由な自己表現を受け止めます。子どもとその家族が施設で安心できる時間を過ごし、少しでも心の負担を減らして新たな生活を迎えていただくことが、子ども支援員の願いです。今回は、小豆沢荘と西新井栄荘の子ども支援員にインタビューを行いました。（児童室の利用時、未就学児は家族同伴となります。子どもの預かりは行っておりません。）

小豆沢荘は、昭和24年に宿泊所として開設され、平成3年から当事業回が運営を受託し、平成5年から宿所提供施設として運営されています。家族世帯の入所が多い傾向があり、子どもの声が響き渡るにぎやかな施設です。児童室には子ども支援員の高橋さん、小瀧さんが常駐しています。

## Q1 児童室でなにをしようか？

高橋 Oから18歳のお子さんと一緒に遊んだり、おしゃべりしたりしています。未就学児から小学校低学年のお子さんの利用が多いです。付き添いで来てくれるお母さんともよく話しますね。子どもが児童室に慣れてくると、お母さんが入所するまでの大変だった話を聞かせてくれることもあります。お母さんの癒しの場としても使ってもらえたらな。

小瀧 遊びの内容としては、おままごと、プフィーなどのおもちゃ遊び、シシんやアイロンビーズなどの工作、家庭菜園や卓球など。いろんな家族が混ざって利用できます。子ども同士で自然に声をかけ合いながら遊んで、関わりの中で徐々に慣れることを学んでいってほしいですね。

## 施設概要

利用対象者：家族、女性単身等

定員 45世帯 85名

地下1階・地上6階建

エレベーターあり

※秘匿の施設のため、所在地や電話番号等は掲載しておりません。詳しくは法人本部（03-6666-1046）までお問い合わせください。

# 宿所提供施設 小豆沢荘 職員インタビュー

## Q2 思い出深いイベントはありますか？

小瀧 体力があまり余っている子がいて。お母さんは疲弊していて、子どもと一緒に遊ぶ時間が取れないようでした。子どもは児童室で動き回ってボールで遊んだりして、少しは発散できたようです。お母さんは手芸にハマって「癒しの時間」と話してくれます。一緒に児童室に来て、それぞれ好きなことをしていたのが印象的でした。

高橋 夏祭りの行事の時に、みんなで盆踊りをやりたいと職員に提案した子がいました。職員に踊りを教えてくれて、他の子どもにも自分から呼びかけて。たくさん子どもが参加して、子ども支援員と担当職員と、みんなで踊ったのが良い思い出です。

## Q3 児童室で大事にしていることは？

高橋 子どもには、児童室での遊びを通じて「世の中には他人でもあなたを受け入れる大人がいること」を伝えたい。そんな気持ちで接していると、親や先生に言えないような話をポツポツとしてくれることもあるんです。子どもの話や遊びの中から見えてくる子どもの特性・家庭の状況は、子どものプライバシーを守るための

範囲で世帯の担当職員と共有します。担当職員から福祉事務所等に児童室の様子を報告して、世帯の支援方針の助けになることもあります。

小瀧 まずは、子どもの話を聞くこと。自分の意見を言えない子もいると思うんです。でも、ここでは言っていないんだよって。もしひとりになっても、誰かと繋がって助けを求められることができ「生きるための力」をつけてほしい。家に引きこもっている子は、学校まで行けなくても児童室には来られたりとか、ここで誰かと繋がるきっかけを作ることができたらいいなと思っています。

(編集＝増村)



インタビューさせていただいた子ども支援員の  
高橋さん(左)と小瀧さん(右)



# 特別企画 宿所提供施設 西新井栄荘

## 施設概要

利用対象者：家族、女性単身等  
定員 32世 66名  
地上 5階建  
エレベーターあり  
※秘匿の施設のため、所在地や電話番号等は掲載していません。詳しくは法人本部（03-6666-1046）までお問い合わせください。

西新井栄荘は昭和27年に開設され、昭和30年に宿提供に種別転換、平成3年から当事業団が運営を受託しています。西新井栄荘のすまいるルームは予約制で、世帯毎での利用のため、子どもがやりたいことを自由にでき、一人ひとりの子どもとじっくり向き合えるのが特徴です。すまいるルームには、子ども支援員の佐藤さんと近藤さんが常駐しています。

### Q1 すまいるルームでなにをしていますか？

佐藤 いろいろなこと遊びや工作、ボードゲームもいくつかあります。人生ゲームや将棋にハマって、入居中すつとやっていた子もいましたね。女の子はおままごとや工作が中心です。近藤 レジンやビーズを使ったアクセサリーづくりは中高生の女の子に人気です。中学生以上の男の子はバッティング、卓球など体を動かす遊びにハマる子が多いですね。西新井栄荘は部屋に引きこもりがちな単身女性の利用が多いので、子どもの利用がない時は声をかけて、一緒にアクセサリーを手作りすることもあります。

## 宿所提供施設 西新井栄荘 職員インタビュー

### Q2 思えば深いエピソードはありますか？

近藤 ある子がすまいるルームで遊び終わって帰る時、「楽しかったね〜またね〜」と自然にハグしてきました。後日、その子の母さんが話してくれたことがあって。この子は元々甘えん坊だったのに、お父さんに甘えて怒られてから、お母さんにもスキニップを取らなくなったと。施設に来て、久しぶりに子どもが自然に甘えている姿を見て感動したと話してくれました。その子が安心して居場所を作れたのかな、と嬉しかったです。

佐藤 毎年の恒例行事である「お化け屋敷」は、子ども達からすくく好評です。子どもが描いたお化けの絵や粘土のお化けとかを飾ったりして、子どもと一緒に行事を作り上げています。

近藤 DV避難で入居した方の中には、人が多いところに行きづらい方もいるので、行事はそんな方の気分転換になるように、という思いも込めて開催しますね。

### Q3 すまいるルームで大事なことは何ですか？

近藤 子どもが話したいこと、したいことを、ありのまま受け入れること。ここにはあなたを受け入れる大人がいるんだよ、ということをお分かってもらって、安心して自己表現できるようにしてほしい。

宿所提供施設の期限は3か月しかないのに、厳しくルールを決めるより、安心して居場所があることを経験して知ってもらいたいと思って関わっています。

佐藤 子どもの自主性です。DV家庭などでは激しく怒られたり、行動を制限され思うように遊べず、気持ちを受け止めてもらえないことがあったと思うんですね。例えばですが、すまいるルームではおもちゃをカラガラ落としでもOK。安全上の必要な注意はするけど、まずは子どもの言動を受け止めます。子ども支援員は先生じゃなく、なんでも話せる大人と思ってほしい。僕が若いころ働いていた別の施設では、先輩の利用者から「先生」と呼ばれていて居心地が悪かったですよ。子ども達には「先生じゃなくて佐藤さんって呼んでね」と話しています。強制はしないでくださいね笑

(編集 増村)



インタビューさせていただいた子ども支援員の近藤さん



江東区からの受託により、子どもや保護者を対象に生活支援や学習支援を実施しているまなびサポート事業。職員の中村さんにお話を伺いました。

# 江東区 まなびサポート事業

Q 事業を一言で表してください。

生活保護や生活困窮者の子どもとその家族に「まなび」というキーワードを通じて、自分らしく生きていくことをサポートしていくための事業と捉えています。

Q 具体的にどのような支援を行っているのですか。

例えば、不登校の子の話をすると「外に出すこと」「や」学校に行かせる」ということを考えてしまいます。ただ、冒頭で言ったとおり、自分らしく生きられるように本人が何を望んでいるのかと照らし合わせて支援することが大切になります。そのなかで、「学校に行きたくない」と言えば、そこに焦点をあてアプローチする。「学校行きたい」と言えばそれを支援していく。まあ、「学校に行きたい」と言われることは少ないですけどね。

不登校の子の場合、ひとりの親世帯が多いです。お母さんは、学校に行かせられない自分を責めることもあります。一方では（経済的に）自立しろと言われ、もう一方からはちゃんと子どもを見なさいと言われる。特に単身で働きながら子育てしているお母さんにはつらい状況になります。そんな辛い思いを「そんなことないよ。頑張ってるよー」とエンパ

ワメント・エンカレッジすることや、子どもの視点に立ってスクールソーシャルワーカーとの調整等を行います。

子どもは学校からいろんなメッセージを受けています。例えば特性のある子の場合、学校とのやり取りを通じて、その特性を押しつけられるような指導を受けると居心地が悪くなることもあります。あたかも自分が悪いようなメッセージを受けると、学校に行くことが負担となってしまうこともあります。ただ、学校に行きたくない理由は、中々言語化できないものです。時には、一緒にYouTubeを見たりしてゆっくりと時間を過ごすこともあります。

## まなびサポート 4つの支援プログラム

### その1 高校進学支援プログラム

中学3年生のいる生活保護世帯を対象とした進学・受験支援

### その2 高校生進路支援プログラム

高校在籍者のいる生活保護世帯を対象とした進路支援

### その3 次世代育成支援プログラム

小学校1年生から高校卒業年齢で、家庭環境・不登校などの課題を抱える子ども・保護者を対象とした、訪問・他機関連携等による支援

### その4 まなび塾

小学校4年生から高校3年生で家に学習環境が無い世帯を対象とした、無料の学習教室



勉強が苦手な子には、勉強ができない痛みがあります。今話した一緒「YouTubeを見る子は、算数の問題を間違つと」出来なくて「めんなさい」と謝るんです。その子は「謝らなくていいんだよ」と伝えるけど、自信を無くしているのが分かります。その反面、ティッシュで戦艦や戦闘機を作るなどクリエイティブなことは得意としています。「すっごく」と言いつつ、「ニヤッと喜んだります」。いわゆる「勉強」ができない所だけを「もって、自分はできない」「自分はダメだ」と自己肯定感が低くなってしまつて子は多いです。「そうじゃない」と伝えたい、その子のいいところを探していくのも大切な支援だと思います。



勉強が苦手な児童とのコミュニケーションの一環として、上記のカードゲームを利用し、交流を深めている。

**Q** 利用者さんとの思い出深いエピソードを教えてください。

中学2年生から関わっていた子が、自分の希望した就職先に受かったときは嬉しかったですね。その子は、様々な事情が重なり都営住宅に一人暮らししていました。工業系の高校に進学後、普通科に転学するなど、進路や将来にはいろいろ悩んでいました。最終的には「公務員になる」と決めて、すごく勉強して無事就職が決まり、それで保護廃止となりました。その子が葛藤しながら自分自身で道を開拓していくのをサポートできたこと、また、その結果にその子が望んだ進路に行けたこと。受かったと聞いた時は涙ぐみました。本当に感慨深かったです。

**Q** 今後力を入れたい業務はありますか。

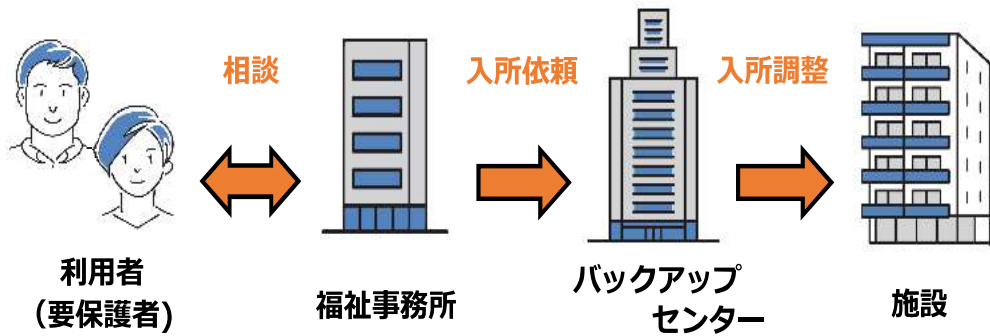
事業とか業務に力を入れたいというよりは、システム側（制度側）と利用者の「つなぎ役」が重要だと考えています。支援者でもシステム側についてしまつてはいけません。「常識的な見方」をしてしまえば、その利用者がわがままや勝手なことをしているように見えることもあります。けれど、子どもがなぜ不登校であるのかの理由が言えないように、どういうところが不安だとか、言葉にして伝えるのが難しい人たちは多いです。言葉が違つて感覚もあり、うまく言葉で説明できないこともあります。だからこそ、利用者が本当に言いたいことを言語化して、それを（システム側の）相手に伝え、逆に相手の伝えたいことを通訳して、利用者へ伝えただで調整を図る。そういう繋いでいく支援を展開していきたいです。

（編集＝清水）



インタビューさせていただいた「まなびサポート事業」職員の中村さん

# 施設利用・申込について



## 福祉事務所のみなさま

### 更生施設 淀橋荘

バックアップセンターへご連絡ください。  
(03-5210-9035)

### 宿所提供施設 小豆沢荘

バックアップセンターへご連絡ください。  
(03-5210-9037)

### 宿所提供施設 西新井栄荘

バックアップセンターへご連絡ください。  
(03-5210-9037)

※その他 施設利用に関するお問い合わせ  
(03-5210-9032)

## 医療機関等・支援関係者のみなさま

施設への入所は、福祉事務所からの依頼が必要です。まずは担当のケースワーカーへご相談ください。また、法人本部(03-6666-1046)まで直接お問合せいただくことも可能です。

### バックアップセンターとは？

施設の入退所の調整を行うところです。特別区人事・厚生事務組合が運営しています。略してBUCまたはB/Cと表記することもあります。塩崎荘はバックアップセンターの調整なしで入所可能です。

事務局

## 清水のしょうもない話

妻にスパイスカレーを振舞った時の事です。あまりのおいしさに「天才ここに現る」とか「お店出しちゃおうかな」と自画自賛していたところ、「私が作った時はそこまで褒めないよね」と言わせてしまいまして、急に味覚を失い、思考は停止して、体中からいろんな汗が出てきました。反省します。

### 編集後記

気が付くと12月になっており、1年があっという間に過ぎております。今回取材・撮影にご協力頂いた皆様、誠にありがとうございます。今回の広報誌がより多くの方の目に留まることを心から願っております。

【制作・編集担当】 早瀬

本号の

## COVER MODEL

### 子ども支援員 高橋さん (表紙左)

ご親族がお茶の先生をやっていたことがきっかけで着物を着始めたそうです。「結婚式などで着て行くと周りからの評判は良いですね！」と本人談。目立つのも好きだそうです！

### 子ども支援員 小瀧さん (表紙右)

テニスを始めたのは中学生の頃。ブランクもありましたが試合にも出場予定！また、支援の中で子どもたちからのリクエストがきっかけで始めた小物づくりが、今ではすっかりご自身の趣味に。



↑すべて小瀧さんの手作り!!